



漢字検定

本校では、各種検定試験を奨励していて、今年度も、漢字検定、数学検定、英語検定などを受験している生徒が多数います。今回は、漢字検定(日本漢字能力検定)を受験し合格した生徒がいますので紹介します。特に、佐藤瑠哉さん(3の1)は、2級合格となりました。2級といえば、漢字能力検定協会が公表しているレベルは、高校卒業・大学・一般程度で、対象漢字数2136字ということですから、相当難しいということになります。準2級も高校在学程度ですから、これも素晴らしいですね。

尚、結果は下記のとおりです。表彰は、終業式に行います。

2級 佐藤瑠哉(3の1)さん
準2級 小松杏芽さん(3の1)、渡辺沙季さん(3の2)
3級 6名、 4級 4名、 5級 1名

JA県書道展、奨励賞

JAが主催している県書道展で、根本紗羽(3の2)さんが奨励賞に入選しました。県全体のコンクールですから、大変素晴らしい結果だと言えます。東西しらかわ中学校書道展でも「容州賞」という学校最高賞に入選した根本さんでしたが、やはり実力が評価された形となりました。これを糧に、今後も、書道にいそしんでほしいと思います。

今年の漢字は、「金」

日本漢字能力検定協会が主催する「今年の漢字」が、清水寺で揮毫(きごう)され、「金」となりました。オリンピックでの金メダルに沸いた年でもあり、野球の大谷翔平選手や棋士の藤井聡太さんが金字塔を打ち立てた事などが理由になっているようです。みなさんにとって、「自分自身の金メダル・金字塔」はどんなことだったでしょうか。また、今年を漢字一字で表すとすると、どんな字になりそうですか。かく言う私は、「変」ですかね。理由は、コロナウイルスの「変」異株が広まったこと、生活そのものが新しい生活様式に「変」わったこと、タブレットの導入により授業の進め方や生徒の学習形態が「変」化したこと、個人的には、4月に表郷中学校に異動し小学校から中学校に「変」わったことなどですかね。みなさんも今年度を振り返り、自分なりの今年の漢字を考えてみてはいかがでしょうか。

「17字のふれあい」、校長賞!

今週は、校長賞、「絆部門3学年の部」と「ふるさと部門」の発表です。

【絆部門3学年の部】

◎ 最優秀賞

「家帰り 心温もる 夜ごはん」 緑川陽愛さん
「思春期の 娘のハートを 胃でつかむ」 緑川恵美子さん（母）

◎ 優秀賞

「成長期 心とともに 背も伸ばす」 穂積英莉さん
「母越えた 父は負けじと 背伸びする」 穂積英樹さん（父）

「コロナ禍も 楽しくすごす 家族時間」 藤井友南さん
「気をつけて 心配吹き飛ばす みじん切り」 藤井千秋さん（母）

【ふるさと部門】

◎ 最優秀賞

「帰り道 見守る人の 温かさ」 小林真菜さん
「夕暮れに 自転車の影 人の影」 小林優子さん（母）

◎ 優秀賞

「小峰城 輝く花火 もう一度」 沼田鮎花さん
「思いはせ 夜に花咲く 皆の笑み」 沼田鮎美さん（母）

「時はたつ 復興の道 続いている」 緑川尊仁さん
「時進み 受け継いでいく あの記憶」 先崎 忍さん（友人）

12月22日、冬至

12月22日(水)は、冬至(とうじ)です。冬至というのは、日照時間が一年のうちで最も短い日となります。その逆は、夏至ですね。一年のうちで日照時間が最も長い日です。冬至には、「ゆず」をお風呂に浮かべて入ったり、カボチャや小豆を食べたりします。冬至を湯治(とうじ)にかけて、お湯の効力を増すよう「ゆず」を入れるのです。また、夏が旬のカボチャをいただくことで栄養を摂ることや、小豆を食べることで邪気を払うという意味もあります。

冬至からは、一年のうちで最も寒い時期が始まります。十分な睡眠、バランスの良い食事、適度な運動などで体調を整え、体力を向上させたり、コロナをはじめ様々な病気に対する抵抗力をつけたりしましょう。特に、3年生は、受験を乗り切る体力をつけることも大事な準備です。寒さとの戦いに打ち勝って、勝利を我が手にしましょう!